

図画工作科の目標
<p>・進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</p> <p>・材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。</p> <p>・身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。</p>

学習すること	
前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大すき自分の線と色 ○ 楽しくつかおう ○ 広がれつながれ ○ こんなことがあったら ○ 切ってけずって ○ ふわりクルクル風パワー
期	<ul style="list-style-type: none"> ○ ざいりょうからひらめき ○ 光を通して ○ ガラスびんのへんしん
後	<ul style="list-style-type: none"> ○ トントンサクサク木の名人 ○ アートたんけんたい ○ あのときをわすれない
期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ぜんからのおくりもの ○ クルクルメカでクルリン ○ ゴムの力でトコトコ ○ 虫さんランド ○ ものがたりのせかい ○ クミクミックス ○ やさしいモンスター ○ はんをつかって

図画工作科の評価

<p>・図画工作科では四つの観点で評価します。</p>			
造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p>自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。</p>	<p>感じたことや見たこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。</p>	<p>手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。</p>	<p>身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いをとらえたり、よさや面白さを感じ取ったりしている。</p>
<p>・次のような方法で見していきます。</p>			
取り組む様子	作品	絵の具の使い方	アイデアスケッチ 展示方法